

## 第5章 沖縄の高校生 & 中学生へのメッセージ

動画はこちら



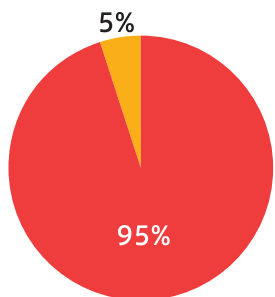
第5章

### 国際協力レポーターOB・OGアンケート調査結果

2020年10月に、2013年度～2019年度「おきなわ国際協力人材育成事業(OICユース)国際協力レポーター事業」参加者266名を対象にアンケート調査を実施し、113名から回答を得ました。その一部を紹介します。

Q1

日常生活での行動の変化や新しく興味を持ったこと、始めたりしたことはありますか。

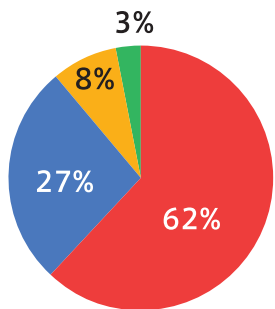


■ ある ■ ない

- ・海外のニュースを自ら調べるようになった
- ・表面的に見ていた自分に気づき、ものごとの背景まで考えるようになった
- ・相手の意見を受け入れようとする気持ちがより強くなった
- ・月に1度、海岸のゴミ拾い!
- ・周りの人に開発途上国での経験を伝えるようになった
- ・SDGsを意識し、マイボトルを使うようになった
- ・講演会などに積極的に参加するようになった

Q2

現在も国際協力を身近に感じたり、貢献したいと思ったりすることはありますか。



■ 強く思う ■ 思う ■ 少し思う ■ あまり思わない

- ・大きなことはできなくても、自分にできることで国内や国外への良いアプローチができるだろうと思っている。海外の情報や色々な立場の人の意見に触れるようにしている。
- ・異文化を超えた繋がりを作る楽しさを知ることができ、異文化を通して自国の文化のよさにも気づくことが出来た。相互作用で沢山の事を学ぶことが出来た。
- ・協力隊やNGOスタッフなど開発途上国で課題解決に向けて奮闘する姿を見て、自分も力になりたいと思った。

## 国際協力・SDGs活動を志す 高校生&中学生へ応援メッセージ

OICユース  
国際協力レポーター  
OB・OGから

私もそうですが、医療系など専門資格や経験が必要な分野で国際協力を携わりたい人は、スタートまで長い道のりになるはず。しかしその中でも、**アンテナを張って情報を集める、色んな人と語り合うなど、考える・感じることをやめずにいたら、無駄な時間はひと時も無いと思う。**(那覇国際高校出身/2014年度ラオス派遣)

人との出会いは今後の人生を大きく変える大切な縁だと思っています。いつ、何が皆さんの人生に大きな影響を与えてもいいように、**心の窓を全開にしておきましょう!**(首里高校出身/2014年度フィリピン派遣)

**いま持っている情熱を大切に!情熱の元、やりた**いことを明確にして進路を決めるといいと思います!**たとえ、望んだ進路に行けないとしても、その情熱があれば自分の道を見失わず、環境に左右されず夢へ近づけると**思います!(2015年度ミャンマー派遣OG)

**国際協力は一見、大きなことのようにも思えますが、小さなところからでも良い**と思います。身近にみんなが参加できることの積み重ねが大きな力になっていくのではないのでしょうか。そして何より、相手のことを考え一緒に歩いていくには何ができるかな?と一緒に悩んで行動していくことが大切だと思います。(八重山商工高校出身/2018年度ミャンマー派遣)

海外は海外でも開発途上国×同世代の高校生たちとの交流は、自分の視野や価値観を大いに広げてくれました。高校生だからできることがたくさんあったなど数年経って感じる人が多いです。後悔しないような学生生活、もし後悔してもそれを取り返せるくらいの気持ちや行動力で色んなことを楽しんでください。(陽明高校出身/2014年度バングラディシュ派遣)

まずはやってみる。そして知る。自分と異なる意見と出会っても、耳を傾けてみる。それだけで自分の世界がとてつもなく広がります。(那覇高校出身/2015年度ベトナム派遣)

英語への興味の有無に関わらず、自分の好きなことを活かした国際協力の仕方が必ずあります。ぜひ自分の好きなことを大切にしながら、国際協力を考えてみてほしいです。(糸満高校出身/2015年度カンボジア派遣)

このご時世なのでしばらくは海外派遣や留学にも参加できる状況ではないと思います。ですが、**現地に行くことだけが勉強とは限りません。今どれだけ自分を成長させられるかで実際に行動した時にさらに成長できるか変わってきます。**今だからこそできることを見つけてください。(コザ高校出身/2017年度モンゴル派遣)